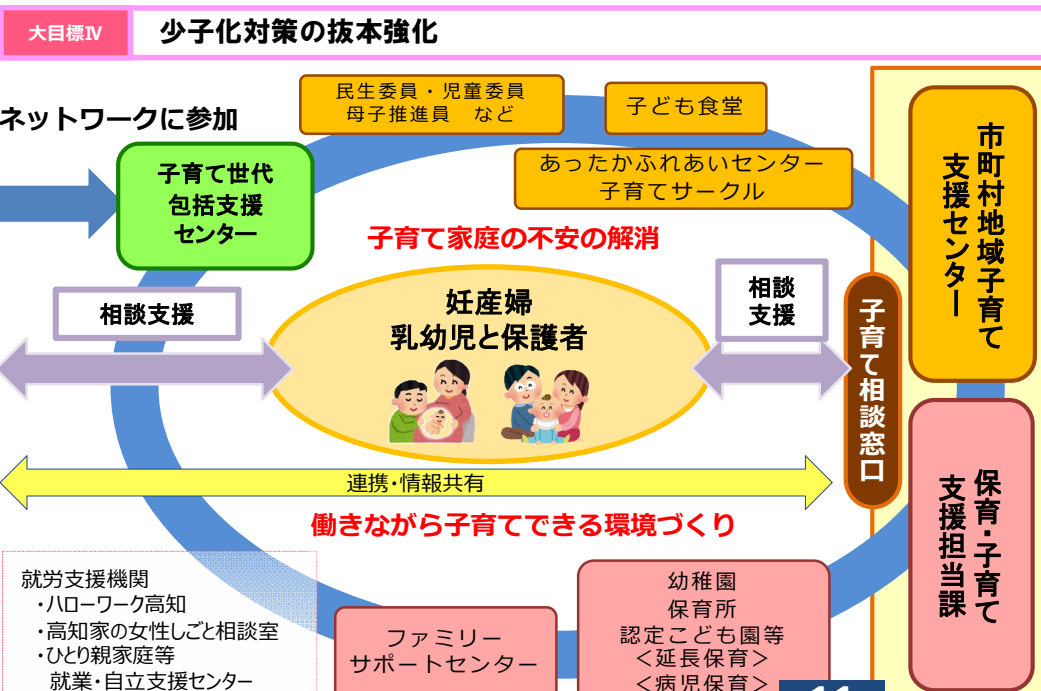
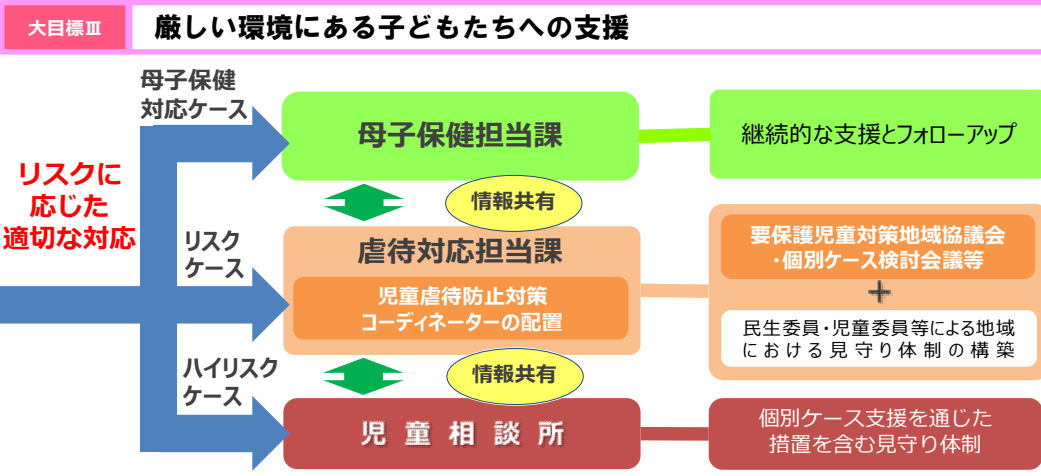


ポイント

『市町村子育て世代包括支援センター』を起点とした妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的な支援「高知版ネウボラ」を強化し、「子育て家庭のリスクに応じた適切な対応」、「子育て家庭の不安の解消」、「働きながら子育てできる環境づくり」を進めます。

妊娠・出産・子育て  
総合相談窓口  
市町村子育て世代包括支援センター  
(母子保健担当課)  
母子保健コーディネーター(保健師等)



- 平成30年度の取り組み**
- リスクに応じた適切な対応 (24,000千円)

    - 保健と福祉の連携のさらなる強化
    - 児童虐待防止対策コーディネーターの配置促進
    - 民生委員・児童委員等と連携した地域の見守り体制の充実
  - 妊娠期からの継続的な支援の充実 (22,036千円)

    - 子育て世代包括支援センターの拡充 (4市町 4か所設置予定)
  - 子育て支援の充実 (179,930千円)

    - 地域子育て支援センターの新設への支援 (2市町 3か所設置予定)
    - 地域子育て支援センターの機能拡充への支援 (妊娠期への支援や出張ひろば等)
    - 多機能型保育事業の推進 (継続支援1市 6か所。新規15か所)
    - あったかふれあいセンターの機能充実への支援 (2町 2か所で実施予定)
  - ネウボラ推進会議の開催 (重点市町支援) (594千円)

    - 子育て世代包括支援センターと子育て支援センター等の効果的な連携方法や、子育て支援事業について、アドバイザー(有識者)を交えて定期的に話し合いを実施
  - 地域における子育て支援の取り組みの現状確認と支援の強化 (全市町村)
  - 総合相談窓口(子育て世代包括支援センター等)機能強化のためのスキルアップ研修会の実施 (442千円)

    - 母子保健コーディネーター及び、母子保健担当保健師等を対象に実践的な研修を実施